

馬場川通りアーバンデザインプロジェクト

群馬県前橋市 / 令和5年竣工

歩・車道段差が大きい馬場川通りや高い柵に囲まれた馬場川及び馬場川沿いのエリアにおいて、都市利便増進協定（地権者30名、前橋市、都市再生推進法人）の締結により、馬場川通り（市道）約200mの区間、都市公園（馬場川遊歩道公園）、準用河川（馬場川）という3種類の公物と、低未利用の状態にあった沿道の民有地を、民間寄付を主な財源として一体的にリニューアルし運営するプロジェクトです。

改修整備の検討と並行して、整備後の空間の使い方、管理・運営のあり方等について勉強会や社会実験で検討を行い、日常管理については、同協定に基づき、社会実験等を通じて組成された地域組織「馬場川通りを良くする会」が行っています。

馬場川通りアーバンデザインプロジェクトに連動して、持続可能な賑わいを支えるミクロの取組の支援として、沿道の低未利用物件等のリノベーション提案を行い、権利者と投資希望者・入居希望者等のマッチングを行うモデルを構築・運用し、まちなかにおける新たな民間投資等のチャレンジや自発的アクション等を促進する取組も行っています。

事業概要

所在地	群馬県前橋市千代田町2丁目、4丁目、本町2丁目
土地面積	約2,200㎡
事業主体	都市再生推進法人（一社）前橋デザインコミッション（MDC）
管理運営主体	馬場川通りを良くする会（日常管理）、前橋市（中長期管理）
主要施設	前橋市02-389号線、前橋市馬場川遊歩道公園、準用河川馬場川
事業スキーム	都市再生特別措置法に基づく都市利便増進協定、承認工事 寄付金（地元財界）、「共助推進型ファンド」助成（民都機構）、PFS（成果連動型業務委託）/SIB事業、前橋レンガプロジェクト（記名入りレンガへの市民賛同金）、紺屋町整備クラウドファンディング、前橋市アーバンデザイン補助金 等

取組のポイント

- 前橋市は、市内の企業・企業家有志からの寄付金等をもとにまちづくりファンドを組成し、都市利便増進協定に基づき、当該ファンドから都市再生推進法人による改修事業に補助。
- 沿道の民有地（元駐車場と銀行敷地）を都市利便増進施設に指定（広場）することにより、道路や準用河川等の公共施設との一体的な活用を実現。
- 改修事業を一過性のハード整備にとどめず、活用・運用を担うプレイヤーの発掘・育成を行うため、「PFS（成果連動型業務委託）/SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）」等を活用して勉強会や社会実験を実施。

